

ライフサポートねりま 土井 美友紀/管理栄養士

功 績 老健の栄養管理を1人で行い、誕生会や行事食では率先してデザートを美しく盛付け、利用者さんの食べる喜びに寄り添っている。また防災委員会の一員として施設の安全を保つため、日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) の研修を修了した。その経験を基に病院・老健の防災マニュアル、BCPの作成に活かし、非常食の管理では、食材料の選定に気を使い、非常食を無駄にしないよう通常の献立に上手く取り入れながら差し替えるなど、コスト面においても多く寄与している功績。

推 薦 者 栄養科 主任 吉井薫子

推 薦 理 由 つねに前向きに、多くの業務をこなしながら、利用者さんの命を守るため、施設の安全を守るため、JDA-DATスタッフの研修を受け、防災で病院・老健を支える土井さんは素晴らしいと思い、今回推薦をいたします。

内 容

栄養科は病院100床、老健80床の共同厨房となっており、業務内容は病院、老健各々に対応するため、非常に複雑になっています。そのような中で、土井さんは栄養科内の給食業務を行いながら、ほぼ1人で老健の栄養管理を実施し、出勤日は毎日ミールラウンドを行うなどして、老健利用者さんとの関係を深めています。また、得意のお菓子作りを活かし、誕生会や行事食ではデザートを美しく飾り付けるなど、利用者さんに喜んでいただけることを熱意をもって行っている。

また、委員会活動においても、開設当初から防災委員会の一員として、備蓄食の設定などに力を入れていました。

私たち栄養士の所属する、日本栄養士会には、国内外で大規模な自然災害（地震、台風など）が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うことを目的として作られたJDA-DATがあります。JDA-DATは、災害発生後72時間以内に行動できる機動性、大規模災害に対応できる広域性、栄養支援トレーニングによる専門的スキルを有する必要があります。

今回土井さんはこのJDA-DATの研修を受け、多くのトレーニングをつみました。

その知識を基に病院の災害マニュアルを見直し、必要な物品の検討を行いました。

また、非常食についても見直し、非常食を無駄にしないよう通常の献立に上手く取り入れながら差し替えるなど、栄養科のコスト面においても多く寄与しています。